

## 僕と剣道と僕の将来

和歌山県

吉備剣道クラブ

小学6年 平松 瑛斗

「宣誓、我々、選手一同は、日々のけい古の成果を十分に発揮し、正々堂々と戦うことを誓います。」

今年、吉備剣道クラブは創立五十周年をむかえ、記念大会を開いた。

僕はたくさんの剣士たちの前で選手宣誓をして、とてもきん張した。

小学生最後の年にこの場に立てたことを大変うれしく思う。

思い出してみると、小学校一年生の時、剣道を習い始めた。

最初に先生と三つの約束をした。

- 一. 玄関でくつをそろえること。
- 二. 体育館に入る時、出る時は、きっちり礼をすること。
- 三. 大きな声であいさつすること。

この三つの約束を守ることから僕の剣道は始まった。

それらはふ段から当たり前にできなければいけない事だが、なかなか簡単にできる約束ではなかった。

そして、この六年間たくさんの先生方から剣道の技と礼儀、相手をうやまう心を学んできた。

海外でも剣道で学んだことは、同じなんだなぁと思った機会があった。

それは、二年前の夏、アメリカのオレゴン州ポートランドに行ったときだった。

僕はアメリカでも剣道をやってみたかった。

そこで、母がポートランドの剣道クラブに連絡を取ってくれ、現地の剣道クラブでけい古に参加させてもらえることになった。

初めて見るアメリカの剣士たち。

礼儀正しく厳しいけい古をする姿に日本の剣士と同じなんだなぁ、文化の違うアメリカにも剣道の心が伝わっているのだなぁと心にジーンとひびいた。

と、同時に日本のみんなにはずかしくない剣道をしたいという気持ちがグッとこみあげてきた。

その気持ちが自然と僕の声が大きくなった。

「ヤーッ」

すると、一人の先生が近くに来て

「ナイス！気合！」

と声をかけてくれた。

とてもうれしかった。

この言葉は今でもはげみになっている。

そんなアメリカでのけい古の中で一番心に残ったのは、日系の人、韓国の人、白人の人、みんな、けい古が終わると全員のがん張りをいっしょになって、たたえあう光景だ。

僕もあの輪に入りたいと思った。

この時からあの輪に入ることが僕の夢になった。

それは、外国で剣道の先生になるという大きな夢だ。

最初の三つの約束から学んだこと、つまり、自立、礼儀、元気を常に心がけ、これから先もたくさんの先生方の指導を受け、剣道を続けていく。

そして外国の剣道を知らない人たちに、そのすばらしさを伝えたい。

逆に彼らからもいろいろなことを教えてもらい、僕自身も成長し続けたい。

だから、僕は剣道も英語の勉強もがん張っている。

日々、努力だ！

「Practice makes perfect！」

けい古が僕を強くする！